

自治体発・海外自治体幹部交流協力セミナー2013（ソウル事務所）地方交流事業概要

【地方交流事業】

2月18日（火）【移動（東京→京都府精華町）／精華町町長表敬／精華町講義】

(1) 精華町町長表敬

精華町到着後、町役場にて木村要町長を表敬訪問。

副町長、議長会会長、教育委員会教育長、総務部長と町代表の方々からの歓迎を受け、ハングルでの横断幕も作られていた。

木村町長からは、「精華町はけいはんな学研都市、関西文化学術研究都市という中核の都市として、重要な都市である。住民の幸せのためには、その数字に喜んでいる場合ではなく、住民の求めているものを、その数字を押さえながら、住民の協力を得て進めていかなければならない。」といった話があった。

参加者団長からは、「けいはんな地域は韓国でも関心度が高い。京都、大阪、奈良は要として産官研が一つのところに集まり、研究を行っているためである。」という、挨拶がなされた。



(2) 精華町講義（行政説明）

奈良企画調整課広報係主査より精華町の概要、学研都市としてのスタートと発展、基本構想及びまちづくりにおける位置づけ等について、説明がなされた。

(3) 視察： 公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構

「けいはんなプラザ」ラボ（エコシティ推進事業部担当部長 新見覚紀氏）

けいはんなエコシティ次世代エネルギー・社会システム実証プロジェクトの概要の講義を受け、施設内にあるパネル・映像とともに機器等の実物に触れることにより、先進技術と環境が調和する未来都市を体感させてもらった。

2月19日（水）【精華町企業視察】

(1) 精華町視察

① 環境衛生薬品(株)（代表取締役社長 黒田泰壽氏）

会社の取組、厚生労働省登録検査機関としての務め、などの講義を受け、そのうち関西学研 ラボラトリーを視察。

ショウジョウバエを使った実験など、参加者はその着眼点に注目した。



- ##### ② 京都栄養科学研究所（代表取締役社長 平田清紀氏）
- 大手栄養サプリメント会社とは違った栄養価の高い、原材料にこだわった健康食品の開発について。またその管理方法についての説明を受けた後、その管理体制を視察。

③ 情報通信研究機構（NICT）

研究機構についての概要説明、また現在開発中の技術についての説明を受けた。韓国人スタッフによるものもあったため、参加者はより親近感をもち質疑応答が活発に行われた。

④ 国際電気通信基礎技術研究所（ATR）（取締役 阪田正和氏）

「国際的な産・官・学連携」のもとに情報通信関連分野における先駆的・独創的研究を推進する」をミッションに掲げ、研究活動、成果展開スキーム等の説明を受けた。また、そののち、スマートフォンに自分でダウンロードできるソフトの体験、研究施設の視察を行った。

(2) 歓迎レセプション

表敬時におられた、精華町主催による、夕食会が開催された。

町長表敬時におられた方々はもちろんのこと、京都府国際化、多文化共生活動をされているNPO会長など賑やかに歓迎いただいた。また、明日お世話になるホストファミリー代表の方も挨拶にこられていた。

会場が宿泊ホテル内であったため、ゆっくりと時間を過ごすことができた。

2月20日（木）【精華町視察】

(1) 精華町視察

① けいはんな記念公園

日本の文化や自然をテーマに設計された水と緑のあふれる公園であり、自然回遊式庭園の「水景園」は自然と人が織り成す空間を様々な距離、角度で楽しめるのが特徴である。

② 木村町長宅拝見

日本の家屋、生活を垣間見る機会をいただいた。町長自ら煎茶を入れ、参加者を歓待。日本の座敷、特産物の町長宅で採りたいちごなどに舌づつみ打ちながら、お抹茶もいただき、日本のマナーも学ぶ。時期がひな祭りであったこともあり、ひな壇の前で集合写真を撮る。

(2) ホームビジット

韓国語ということもあり、各家庭に訪問することは難しいため、お寺の本堂に地元のお母さん方があつまり、手料理でもてなしてくださった。参加者全員に、手作りのお雛様をプレゼントされ、ちらし寿司、ひなあられなど日本の風習について語られたようであった。

(3) 合同意見交換会（精華町）

参加者・精華町職員参加による意見交換会を実施。参加者代表からの御礼の言葉から始まったが、精華町から参加者への質疑応答という形で意見交換が行われた。参加者は自分の自治体等を例を挙げながらアイデア提供を行っていた。



「けいはんな公園」視察



町長宅訪問



意見交換会

2月21日（金）【精華町→関西空港（帰国）】

時間等の効率化を考え、関西空港から帰国するスケールとした。
出発、出国ぎりぎりまで見送り、参加者は名残惜しそうにして
いたのが印象に残った。